令和７年度第４回北広島市教育施策審議会　会議録

日　　時	令和８年１月26日（月）18時30分　～20時00分
会　　場	市役所３階会議室3D
出席委員	由水会長、新發田副会長、折原委員、藤根委員、藤﨑委員、岩﨑委員、山本委員
欠席委員	なし
市出席者	吉田教育長、尾崎教育部長、鹿野教育部理事、竹内教育総務課長、伊達教育総務課参事、澤井教育支援課長、木村社会教育課長、記内エコミュージアムセンター長、松下学校給食センター長、棚田教育総務課主査、久保教育総務課主事
傍聴者	川又学校教育課長、岡文化課長、蛯名文化課参事

1　開会

委員改選後、初めての会議であることから、新たに会長及び副会長が選任されるまでの間、事務局で進行することを説明。

2　教育長あいさつ

教育長就任後、初めての会議であることから、吉田教育長より挨拶。

また、令和７年10月１日付で行われた事務局の人事異動についても説明。

3　委嘱状の交付

令和７年10月22日に開催された教育委員会会議において、再任７名の審議会委員の就任について可決されたことから、吉田教育長より委嘱状の交付を実施。

4　会長及び副会長の選任

互選により、会長に由水委員、副会長に新發田委員を選任。

5　議事

会長から、会議録署名委員として藤根委員を指名。

「議事（１）令和８年度（２０２６年度）推進計画の内示について」は教育委員会会議規則第１６条第１項第３号『公開することにより、教育委員会又は市長その他関係機関の適正な事務の執行に著しい支障が生じるおそれのある事項』に該当することから非公開とすることが事務局から提案され、各委員によって承認。

（１）令和８年度（２０２６年度）推進計画の内示について【非公開】

非公開案件についての説明及び質疑応答が行われた。

（２）北広島市教育振興基本計画（2021-2030）中間年度見直しについて

第３回会議において承認された中間年度見直し版について、一部内容の追記及び変更を行ったため事前に各委員より意見を聴取し、内容整理を実施した旨、事務局より説明。

主な変更点としては以下のとおり。

○「第２章 教育の動向」に「(3)次期学習指導要領の改訂に向けた中央教育審議会における検討及び(4)文部科学省教育課程企画特別部会論点整理」の追記。

○「第４章 教育振興基本計画」の政策について、市総合計画第２章との付け合わせを行い、内容を整理。

○「第５章 計画見直しの計画」を追加。

○施策10として「教育機会の確保」を追加し、以降の施策番号を繰り下げ。

○政策の成果指標について誤記を修正。

また令和７年12月22日から令和８年１月20日までパブリックコメントを実施したが意見がなかった旨を事務局より説明。

各委員の意見や助言が整理されたことが会長より確認され、答申を行うことを全会一致で承認。

６　答申

由水会長から吉田教育長に対し答申を手交。

７　協議事項（意見交換）

教育振興基本計画中間年度の見直しに当たり、各委員が教育に関して日頃感じている内容について意見交換を実施。

（Ａ委員）

○他の地域の事例ではあるが、児童生徒間の暴行の動画がインターネットにアップロードされる事案が発生し、非常に心苦しい。学校現場としてはどういった経緯でそのような事案が発生したのか情報を集めるとともに、同様の事案が発生しないように丁寧に対応していく必要がある。

○生涯学習を推進し、学校を卒業した人も学び続ける環境を整備したい。

（Ｂ委員）

○委員の中に女性が増え、時代の流れを感じている。

○みらい塾の名称が「適応指導教室みらい塾」から「教育支援センターみらい塾」に変更されたことは重要な転換点。

○審議会の中で過去に議論された学校の印刷機の整備が実現されたことで、審議内容が実務へと反映される過程を認識できた。

○現在はVUCAやAIなどの新概念がもたらす変革期にあり、現場観察によって理

解が深まると考えている。1人1台端末の活用と自然体験による五感を通じた教育の両立が北広島の魅力であり、このバランスを維持しつつ進展していくことを期待している。

（C委員）
○西の里小学校は地域との繋がりが強い。コミュニティスクールの中で地域の担い手となり、地域を大切にする人を育てていきたい。
○時には教えることを我慢し子どもの自発的な行動を引き出し、受け止める姿勢が重要である。今後も柔軟な学校環境をつくりたい。

（D委員）
○多様な価値観が大切にされてきていることは喜ばしいが、一方で興味のあることしか知ることができない状況が増えていると感じる。焦点化された情報にしか触れられない環境は懸念が大きい。
○子どもが安全、安心に楽しく通学できる環境づくりに努めている。

（E委員）
○放課後子ども教室に携わり、その重要性を認識すると同時に、市内でも整備状況に偏りがあることが課題と感じていた。拡充していく方針が示されたので今後に期待したい。
○子どもにとって発表する経験、褒められる経験、怒られる経験が少ないと感じる。

（F委員）
○北広島市は教育環境の変化を敏感にとらえ、先駆けて様々な施策に取り組んでいると感じる。成果に繋がることを期待している。
○移転に伴い、みらい塾がさらに魅力ある場としてリニューアルすることを期待している。

（G委員）
○施策として文化に関する内容がより充実していくことを期待している。
○柔軟かつ実践的に文化を伝えていくことが重要。

8　その他

次回の審議会は3月の開催を予定。

9　閉会

会議録署名委員　藤根収